

第 14 回 OVER80 安全保障問題分科会報告

2023.2.25 保坂 洋

2023年2月24日(金)10:00からZoomによるオンラインで2月度例会として第14回OVER80安全保障問題分科会を開きました。当初は、当分科会主宰和田文男さんの「食料安全保障問題としての自給率」を取り上げる予定でしたが、結城さんからタイムリーなレポートをいただいたので、急遽結城さんの講演に差し替えることとなりました。演題は「ゼロコロナ解除後の中国と世界」です。結城さんは経産懇で講師を務めることも多いので、主宰の浅野応孝さんと相談、OVER80で主催し、経産懇はオブザーバー参加とする形式としました。両者合わせて37名の参加者が集まり盛況な会となりました。

講演内容は2部構成です。

1部は「2年目を迎えたウクライナ戦争」で、4項目についてお話をいただきました。

- (1)ロシアの状況
- (2)ウクライナの状況
- (3)国際世論の分断
- (4)中国の役割高まる

意外と強靱なロシア経済、崩壊しているウクライナ経済、US、EU9、UK、中国、トルコ、インドの温度差、中国の停戦仲介と続きます。

2部は「2023年の中国と世界」で、以下の5項目についてお話をいただきました。

- (1) 2023年の世界～脆弱な「正常」へ
- (2) 三期目に突入する習政権
- (3) ゼロコロナからオールコロナへ～経済回復に拍車をかける
- (4) 不動産問題には目途がつきつつある。課題は三四線都市
- (5) 地方政府の財政難が大きな課題

ウクライナ戦争に関して結城さんが調べた限り「日本の動向、解決へ向けての提案」などは見当たらなかったということです。「日本は米国の一部と見られているのではないか」という見解を示されましたが、寂しさを禁じえなかったのは筆者だけではないと思います。

事前に資料をいただいていたので、内容が広くかつ深いため、事前に質問を募りました。それらの質問については、講演の流れの中で回答をしていただきました。

ウクライナ戦争の停戦、世界経済の正常化を祈る一同の気持ちを背景に、熱い2時間の講演を終えました。

以上